北斎漫畫五編

梅の屋のしゆんまづつくゑのほとりかたんとのあるじ
やすきしみの萩てらさまのきく此いつくしさい
おつかきの筆とるまて奥秋のきわきのひろき
人ゆきゝつどひてみちてきしはへめづらしん
のうつせるめでたし北斎のかきちらせしをもとめ
こゝろまかせたよりなる人まくそのりたよくさく
ゆるさいもいつくらのふものためしきしまの
まつりぬべしちりこゝろ漫画とまうけし
ゑみ本まえりて物語しれはゞ人のめて

ゑやまとうたにおぞこして翁もしく殊よいつ
の巻く折りてかのあつしかぞふめる花ぞゑ
のめりづくつやかずしもしくぞひろまもみ
りにたくみまさるあてつひまさもかりわらそふ
本草のむもいかめてをやふ露つへきひもちひ
らくるくらふみのなくしきと見えてん人ぞ
おまゑまいはなかいもりめんかし

六樹園

五編
規矩
準縄

手置帆負命

天彦狹知命

宮室を画く心得乃事

道家の流々其秘とする所多く漫説あるを
せざれバ尺寸の相違をわきまへて古人も
是を詳に画くことをせず適々形を必
とるといへども多く蜜画して俗眼を悦ぶ
者あり己が不知の妄を庇ふ只臨本をまもり
て古人のあやまりを紙上に引うけ後世の
識をしらざるの族画を学ぶとして古人を
まなぶのびといふべし

両儀　日月星　四季　五行
七星　八課　九曜

この數を眼前の形其長短に引當て考る
ときハ宮殿楼閣といへども画るに安かるべし

日本木迊祖神

あらうとりね

根本鹿香鳥居

黒木鳥居

四足鳥居
柱ハ中カすぼりくるもあり
大小同じ
左ハ柱三分ころぶ
三輪
花表

丸太とりゐ
日吉花表

後世の製作
定漆いろ色
木地也
銅花表

彫刻作面白きも
好むは古彫刻多さや
流世の作意ゟ来
多くはすさ道の
たしへきせり

笠木の
木口あり
天丸く地平らかなり

同く木地
けづり立なる

鐘樓（しゆろう）
一
此処

製作致し置べし
次の編に譲す

や袮の法あり
其二
鐘楼之家根

古鐘
生滅〻已
是生滅法

寂滅爲樂

諸行無常

四句之文刹鬼

傅大士

普建

一切経を見やすからしめんと
一柱八面の輪蔵を作り
末世に残しめ玉

大建元年四月廿七日
本州に遷化

普成（ふじやう）

輪蔵門

二
天蓋 てんがい
臺 うてな

裏文曰

迷故三界城
悟故十方空
本来無東西
何処有南北

竽

經堂の
九輪と

経堂のやねの法あし
三
輪蔵ハ脇正面ニ同し
製作同しといへども寸数ちかく
次の編ニ寄す

四
次の丁ハ
牢格を写す

輪蔵ハ
外廻り之
正面ニ

輪蔵ノ家根
のきのすみ
左右とも

寺門ノ一

塀（へい）
其二

博雅三位

安部仲麿

中納言
行平

藤原忠文
ふぢはらのたゞぶん

伊賀局（いがのつぼね）

藤原實方

柿本（かきのもと）貴僧正（きそうじやう）

天拝山（てんぱいざん）

楠正成（くすのきまさしげ）

力士
力牧贊

平正門
老臣公連

葵上
あふひのうへ

守屋大臣
西行法師
山邊赤人

文屋康秀（ぶんやのやすひで）

大友真鳥
兼道
大塔宮

猿田彦太神

天臼女命（あまのうずめのみこと）

三尊窟

摩竭（まかつ）
飢竭（けかつ）

禪宗之伽藍神（ぜんしうの がらんじん）

大元之像（だいげんのぞう）

關公之像（くわんこうのぞう）

前北齋戴斗先生畫譜

尾張名古屋本町七丁目　永樂屋東四郎

北齋漫畫初二三編　全一冊宛　先生の抑ニ盛ト學ニ示通りニ宜しく倣べき事　さまざまの形状を写し追々編を続て全部ニなして迄

同　四編　全一冊　草筆を加へ席上の草画ニ為しむることを要とす

同　五編　全一冊　花表堂塔伽藍月卿雲客館斎房舎を畫く　うつしてなをたきさるハ編てふたまする事とし

同　六編　全一冊　剣法鎗法弓馬炮術者稽古のさまをうつして　はなはだしきは武徒の要きを表する一事とし

同　七編　全一冊　國々名勝の地風雨霜雪のけいしよくをうつす

同　八編　全一冊　前編ニ漏る例のおもしろくをうつし尽し　且錦繍養蚕乃業を忘ず

同　九編　全一冊　和漢古今の名ある武者勇士および貞婦烈女のすがたをのす

同　十編　全一册

神佛あるひは奇僧高僧幻術者其外清朝風流の人物等をしるす

同　商人鑑　全一册

市中商家の當時のいとなみを畫して太平の景況をあらはし數編をかさねて一物も残ることなく縮寫

三體畫譜　全一册

真行草の筆意をもつて人物山川艸木禽獣蟲魚にいたるまでくはしく巻中に盡せり

蕙齋危畫　全一册

画は初心の學のたよりに略画の工夫あらはし運筆の草画なり

名家畫譜　全一册

古往今来諸國高名家の奇画妙図をおしくえらみあつめたるなり

金氏畫譜　全一册

明人諸名家の畫賛并に蘭竹の図を畫き畫法の高論を悉く集めたるをそのまゝ縮刻す

繪本孝經　全二册

孝經の書はいかなる事業をもさとしやすき為ひろく古事を證據として繪を加へ至徳要道を志しむる人の手本の書なり

福善齋画譜　全三册

藤嘉言先生生涯風流骨徹の画譜宋元明乃古画の臨寫をおほく載せり

東都畫工　葛飾北齋筆

門人　北亭墨僊

尾陽名古屋　挍　東南西北雲

書林

江戸本石町十軒店　英屋平吉

同　日本橋四日市　竹川藤兵衛

同　糀町平川町　角丸屋甚助

尾州名古屋本町七丁目　永樂屋東四郎